

豚 肉 情 勢

12月5日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																																																														
供給	1.国産	○ 令和2年10月度全国の肉豚出荷頭数は1,481千頭(農林水産統計11/30公表 前年同月比101.1%、前月比109.9%)となった。 10月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道102.1%、東北99.5%、関東101.2%、北陸甲信越96.1%、東海106.0%、近畿91.9%、中四国100.7%、九州・沖縄101.7%となった。 ○ 令和2年11月の全国と畜頭数は、速報値で1,361千頭(11/30まで集計)、前年同月比96.0%となっている。稼働日数では昨年より1日少ない19日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で71,632頭となっている。(前年は70,911頭/日) ○ 農水省食肉鶏卵課令和2年11月18日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和2年12月1,464千頭(前年同月比99%)、1月1,393千頭(同96%)、2月1,315千頭(同99%)、3月1,407千頭(同98%)となっている。	国内生産量の推移 農水省出荷予測 (千頭:%) <table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">国内出荷頭数</th><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">出荷予測</th></tr><tr><th>千頭</th><th>前年比</th><th>頭数</th><th>前年比</th></tr><tr><td>H28年</td><td>16,379</td><td>101.7</td><td>R2年 12月</td><td>1,464</td><td>99</td></tr><tr><td>H29年</td><td>16,338</td><td>98.3</td><td>R3年 1月</td><td>1,393</td><td>96</td></tr><tr><td>H30年</td><td>16,429</td><td>100.6</td><td>R3年 2月</td><td>1,315</td><td>99</td></tr><tr><td>H31年</td><td>16,320</td><td>99.3</td><td>R3年 3月</td><td>1,407</td><td>98</td></tr><tr><td>R2年 7月</td><td>1,356</td><td>99.6</td><td colspan="3" rowspan="4">令和2年11月18日更新</td></tr><tr><td>R2年 8月</td><td>1,269</td><td>100.9</td></tr><tr><td>R2年 9月</td><td>1,347</td><td>104.7</td></tr><tr><td>R2年 10月</td><td>1,481</td><td>101.1</td></tr></table>					暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測		千頭	前年比	頭数	前年比	H28年	16,379	101.7	R2年 12月	1,464	99	H29年	16,338	98.3	R3年 1月	1,393	96	H30年	16,429	100.6	R3年 2月	1,315	99	H31年	16,320	99.3	R3年 3月	1,407	98	R2年 7月	1,356	99.6	令和2年11月18日更新			R2年 8月	1,269	100.9	R2年 9月	1,347	104.7	R2年 10月	1,481	101.1									
	暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測																																																												
千頭		前年比	頭数		前年比																																																												
H28年	16,379	101.7	R2年 12月	1,464	99																																																												
H29年	16,338	98.3	R3年 1月	1,393	96																																																												
H30年	16,429	100.6	R3年 2月	1,315	99																																																												
H31年	16,320	99.3	R3年 3月	1,407	98																																																												
R2年 7月	1,356	99.6	令和2年11月18日更新																																																														
R2年 8月	1,269	100.9																																																															
R2年 9月	1,347	104.7																																																															
R2年 10月	1,481	101.1																																																															
	2.輸入	○ 令和2年10月の輸入通関実績は豚肉全体で72.4千ト(前年同月比86.3%、前月比110.7%)となった。 内訳はチルドが35.0千ト(前年同月比95.6%、前月比107.7%)、フローズンが37.3千ト(同79.0%、同113.7%)となった。 主な国別では、チルドがカナダ17.5千ト(前年同月比107.9%)、米国16.3千ト(同 83.0%)、メキシコ1.2千ト(同151.7%)となった。 フローズンは、メキシコ7.8千ト(前年同月比99.6%)、スペイン6.9千ト(同70.6%)、デンマーク6.0千ト(同61.7%)、米国4.4千ト(同113.4%)、カナダ3.2千ト(同87.9%)となっている。 チルドは引続き新型コロナウイルスの影響に伴う北米工場の作業効率低下や入船遅れ等により、前年を下回る結果となった。フローズンは国内在庫が高水準であることに加え、ドイツでのASF発生の影響による欧州産の現地相場が高いこと等により、前年を大幅に下回る結果となった。	輸入量の推移 財務省・通関実績 <table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">輸入数量</th><th colspan="2">チルド数量</th></tr><tr><th>ト</th><th>前年比</th><th>ト</th><th>前年比</th></tr><tr><td>H28年</td><td>861,149</td><td>108.9</td><td>355,501</td><td>110.3</td></tr><tr><td>H29年</td><td>932,048</td><td>108.2</td><td>398,847</td><td>112.2</td></tr><tr><td>H30年</td><td>924,971</td><td>99.2</td><td>406,752</td><td>102.0</td></tr><tr><td>H31年</td><td>958,963</td><td>103.7</td><td>407,360</td><td>100.1</td></tr><tr><td>R2年 8月</td><td>68,478</td><td>80.5</td><td>31,300</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R2年 9月</td><td>65,468</td><td>83.7</td><td>32,591</td><td>111.0</td></tr><tr><td>R2年 10月</td><td>72,480</td><td>86.3</td><td>35,096</td><td>95.6</td></tr></table>					暦年	輸入数量		チルド数量		ト	前年比	ト	前年比	H28年	861,149	108.9	355,501	110.3	H29年	932,048	108.2	398,847	112.2	H30年	924,971	99.2	406,752	102.0	H31年	958,963	103.7	407,360	100.1	R2年 8月	68,478	80.5	31,300	87.5	R2年 9月	65,468	83.7	32,591	111.0	R2年 10月	72,480	86.3	35,096	95.6														
暦年	輸入数量		チルド数量																																																														
	ト	前年比	ト	前年比																																																													
H28年	861,149	108.9	355,501	110.3																																																													
H29年	932,048	108.2	398,847	112.2																																																													
H30年	924,971	99.2	406,752	102.0																																																													
H31年	958,963	103.7	407,360	100.1																																																													
R2年 8月	68,478	80.5	31,300	87.5																																																													
R2年 9月	65,468	83.7	32,591	111.0																																																													
R2年 10月	72,480	86.3	35,096	95.6																																																													
需要	1.家計消費 2.小売動向 10月概況	○ 総務省発表の令和2年9月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,769g(前年同月比104.2%)、支出金額が2,605円(同106.8%)となっている。 ○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の10月の販売統計速報によると、既存店ベースでの畜産部門の売上高は1,130億円(前年同月比105.0%)となった。全般的には家庭での調理用食材への需要は堅調に推移し、好調となったとしている。週末を中心にステーキや焼肉用の高単価牛肉が継続して好調で、気温の低下とともに高まった鍋需要により鶏肉が好調となった。豚肉は国産相場高の影響で伸び悩み、輸入豚の販売を強化するなどで対応している店舗が多いとの報告がなされた。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した10月販売概況によると、畜産品の売上は878億円(店舗調整後で前年同月比105.0%)となり、2月以降9か月連続で前年実績を上回り、前月比でも105.2%と上回る結果となった。	家計消費量 (㊦, 円, %) <table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="4">全国1世帯当り</th></tr><tr><th>数量</th><th>前年比</th><th>金額</th><th>前年比</th></tr><tr><td>H28年</td><td>20,431</td><td>103.0</td><td>29,484</td><td>99.3</td></tr><tr><td>H29年</td><td>20,785</td><td>101.7</td><td>30,025</td><td>101.8</td></tr><tr><td>H30年</td><td>21,514</td><td>103.5</td><td>30,591</td><td>101.9</td></tr><tr><td>H31年</td><td>21,178</td><td>98.4</td><td>29,637</td><td>96.9</td></tr><tr><td>R2年 6月</td><td>1,881</td><td>106.4</td><td>2,678</td><td>111.2</td></tr><tr><td>R2年 7月</td><td>1,845</td><td>107.3</td><td>2,671</td><td>113.3</td></tr><tr><td>R2年 8月</td><td>1,827</td><td>112.1</td><td>2,710</td><td>116.1</td></tr><tr><td>R2年 9月</td><td>1,769</td><td>104.2</td><td>2,605</td><td>106.8</td></tr></table>					暦年	全国1世帯当り				数量	前年比	金額	前年比	H28年	20,431	103.0	29,484	99.3	H29年	20,785	101.7	30,025	101.8	H30年	21,514	103.5	30,591	101.9	H31年	21,178	98.4	29,637	96.9	R2年 6月	1,881	106.4	2,678	111.2	R2年 7月	1,845	107.3	2,671	113.3	R2年 8月	1,827	112.1	2,710	116.1	R2年 9月	1,769	104.2	2,605	106.8									
	暦年	全国1世帯当り																																																															
数量		前年比	金額	前年比																																																													
H28年	20,431	103.0	29,484	99.3																																																													
H29年	20,785	101.7	30,025	101.8																																																													
H30年	21,514	103.5	30,591	101.9																																																													
H31年	21,178	98.4	29,637	96.9																																																													
R2年 6月	1,881	106.4	2,678	111.2																																																													
R2年 7月	1,845	107.3	2,671	113.3																																																													
R2年 8月	1,827	112.1	2,710	116.1																																																													
R2年 9月	1,769	104.2	2,605	106.8																																																													
	11月概況	○ 11月は内食需要が継続するなか、全般的に量販店などの販売が底堅く、国産品は堅調な荷動きとなったものの、連休後はやや荷動きが鈍った。 輸入チルドボークは通関遅れが生じ品薄感が強まるなかでも、国産から輸入品へのシフトが見られ、特にベリーやロイン系の荷動きが良く、全体的に荷動きは悪くなかった。冷蔵部位では気候が低くなったことによる鍋物需要等があり、バラ・カタロースの引合いが強く、モモ・ウデ、ひき材の荷動きも悪くなかった。 他方、冷凍品の国産物はスネなどの挽き材関係が比較的順調な荷動きとなり、輸入物については、外食需要が回復傾向のなかで徐々に在庫が減少してきたが、全体的に荷動きは静かで、依然として高い在庫水準となっている。	加工品仕向量 市況の推移(東京市場) <table><tr><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">加工品仕向量</th><th rowspan="2">暦年</th><th colspan="2">豚枝肉「上物」</th></tr><tr><th>千ト</th><th>前年比</th><th>円/kg</th><th>前年比</th></tr><tr><td>H28年</td><td>370.5</td><td>98.9</td><td>H28年</td><td>524</td><td>93.7</td></tr><tr><td>H29年</td><td>376.6</td><td>101.6</td><td>H29年</td><td>569</td><td>108.6</td></tr><tr><td>H30年</td><td>376.6</td><td>100.0</td><td>H30年</td><td>518</td><td>91.0</td></tr><tr><td>H31年</td><td>372.1</td><td>98.8</td><td>H31年</td><td>524</td><td>101.2</td></tr><tr><td>R2年 6月</td><td>33.0</td><td>105.0</td><td>R2年 8月</td><td>634</td><td>111.2</td></tr><tr><td>R2年 7月</td><td>33.2</td><td>102.1</td><td>R2年 9月</td><td>621</td><td>112.1</td></tr><tr><td>R2年 8月</td><td>30.2</td><td>98.8</td><td>R2年 10月</td><td>538</td><td>107.2</td></tr><tr><td>R2年 9月</td><td>30.1</td><td>99.8</td><td>R2年11月速報</td><td>531</td><td>116.5</td></tr></table>					暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」		千ト	前年比	円/kg	前年比	H28年	370.5	98.9	H28年	524	93.7	H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6	H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0	H31年	372.1	98.8	H31年	524	101.2	R2年 6月	33.0	105.0	R2年 8月	634	111.2	R2年 7月	33.2	102.1	R2年 9月	621	112.1	R2年 8月	30.2	98.8	R2年 10月	538	107.2	R2年 9月	30.1	99.8	R2年11月速報	531	116.5
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」																																																													
	千ト	前年比		円/kg	前年比																																																												
H28年	370.5	98.9	H28年	524	93.7																																																												
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6																																																												
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0																																																												
H31年	372.1	98.8	H31年	524	101.2																																																												
R2年 6月	33.0	105.0	R2年 8月	634	111.2																																																												
R2年 7月	33.2	102.1	R2年 9月	621	112.1																																																												
R2年 8月	30.2	98.8	R2年 10月	538	107.2																																																												
R2年 9月	30.1	99.8	R2年11月速報	531	116.5																																																												
	3.加工肉仕向量	○ 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合発表 令和2年9月の豚肉加工品仕向量は30.1千ト(前年同月比99.8%、前月比99.4%)となった。 この内、国内物が5.7千ト(前年同月比111.3%)、輸入物が24.3千ト(同97.4%)となっている。 なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは9.6千ト(前年同月比101.6%)となっている。																																																															
在庫	1.在庫	○ 農畜産業振興機構発表の令和2年9月末の推定期末在庫量は、213.0千ト(前月比96.5%、前年同月比97.6%)となった。 内訳は、輸入品の在庫が193.3千ト(前月比96.4%、前年同月比97.7%)、国産品が19.6千ト(同96.8%、同96.7%)となり、輸入品・国産品ともに前年を下回る結果となっている。																																																															
枝肉相場	1.R2年11月速報値	○ 令和2年11月の東京食肉市場枝肉相場は、速報値(11/30時点)で531円/kg(前年同月比116.5%、前月比98.8%)となった。 需要面では新型コロナウイルスの影響により内食需要が継続しており、量販店などの荷動きが堅調であった。供給面では輸入チルドボークが北米からの入船遅れがあり、国産の稼働日が昨年より1日少ない19日となり、全国と畜頭数は前年同期を下回る出荷となった。相場は輸入チルドボーク入荷が不安定となったこと、出荷頭数が減少となったこと等により乱高下したものの、全体としては前年同月を大きく上回る結果となった。																																																															
	2.予測 R2年12月	○ 農畜産業振興機構発表の12月出荷予測頭数は1,464千頭(前年同月比99.0%)と予測している。 12月は①供給面において、輸入品の供給が不安定で、国内生産量が前年同期並みと見込まれており、②需要面において内食需要が堅調ななかで季節的需要が高まる時期であること、加えて鶏肉が全般的にタイトな流通状況であることなどから、相場は乱高下を繰り返しながらも年末に向かって上がっていくと予測する。																																																															
		<相場予想: 東京市場、税込み> 【上物】(前年比)	R2年10月実績 537円(107.0%)	R2年11月速報値 531円(116.5%)	R2年12月予測 570円(112.0%)	R3年1月予測 550円(119.8%)																																																											

加工品仕向量			市況の推移(東京市場)		
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」	
	千ト	前年比		円/kg	前年比
H28年	370.5	98.9	H28年	524	93.7
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0
H31年	372.1	98.8	H31年	524	101.2
R2年 6月	33.0	105.0	R2年 8月	634	111.2
R2年 7月	33.2	102.1	R2年 9月	621	112.1
R2年 8月	30.2	98.8	R2年 10月	538	107.2
R2年 9月	30.1	99.8	R2年11月速報	531	116.5

* 税込み